

## EBC研究会ワークショップ2007

日 時：2007年3月27日（火）12：45～18：30

場 所：宇都宮大学 農学部 3101 教室（別添地図参照）

参加費：1,000 円（会場費等）

参加申し込み：下記事務局に3月3日までにお願いします。申し込みをされた方には講演要旨を事前にメール(PDF)でお送りしますので、当日ご持参ください。なお、当日も会場にて受け付けを行います（12:00～）。

懇親会（会費4,500円程度）：宇都宮駅西口近くで19:30より予定しております。参加をご希望の方はシンポジウム申し込み時にお申し出下さい。

### プログラム

12:45 開 会

12:45～13:05 EBC研究会の取り組みと今後の方向性 —現場に役立つ試験研究を目指して—  
富田恭範（茨城県農業総合センター園芸研究所）

13:05～13:40 コシヒカリマルチラインの導入に向けたイネいもち病防除体系の構築  
堀 武志（新潟県農業総合研究所 作物研究センター）

13:40～14:15 リンゴでの病害虫防除回数削減 —青森県のエビデンス—  
雪田金助（青森県農林総合センターりんご試験場）

14:15～14:45 生物農薬エコホープの使用法とエビデンスマーク  
熊倉和夫（クミアイ化学工業株式会社）

—休 憩—

15:00～18:30

—新規開発薬剤が農業現場で普及・貢献するまでのプロセスにおける諸問題とその対応—

1) 開発から実用化試験に至るまでの諸問題とその対応

齊藤泰彦（北興化学工業株式会社）

2) 登録申請データの収集と評価における諸問題とその対応

①試験実施とデータ取りまとめの場面

田代暢哉（佐賀県果樹試験場）

②試験データ評価の場面

森田恭充（社団法人日本植物防疫協会）

3) 登録薬剤の現場への普及過程における諸問題とその対応

神頭武嗣（兵庫県立農林水産技術総合センター）

三好孝典（愛媛県立果樹試験場）

田口義広（アリスライフサイエンス株式会社）

4) 総合討論

18:30 閉 会

問い合わせ先：研究会事務局

東京農業大学農学部植物病理研究室 根岸寛光（e-mail:negishi@nodai.ac.jp）